

恵海氏著「拝啓 オバマ次期米大統領閣下」日本経済新聞「大機小機」2008年11月23日刊を読む

1. はじめに

拝啓 オバマ次期大統領閣下

(1)明せきな頭脳、たぐいまれな演説能力、人種・民族・宗教の相違を克服し米国の建国精神をよみがえらせるビジョンなどにより、圧倒的支持を獲得し、大統領に当選されたことを心からお祝い申し上げます。

(2)来年1月20日の就任式以前に、本日からでも取り組んでいただきたい政策があり、失礼を顧みずお手紙を差し上げる次第です。

2. 米国経済を救出するために

(1)閣下、デフレ突入の瀬戸際ともいえる米国経済を救出するために、マクロ・ミクロの政策を総動員することがどうしても必要です。

(2)当代一級の経済顧問の方々から既にお聞き及びと存じますが、経済がいったんデフレに陥ってしまうと…

①現に苦境にある自動車業界にとどまらず、ほぼ全産業が巨額の赤字資金をガブ飲みするゾンビに変身し、

②銀行の貸し出しは瞬く間に巨額の不良資産に転化します。

③大量の償却により銀行の資本は大きく棄損し、

④二次、三次の税金投入が必要となります。

⑤閣下を熱狂的に支持した米国民も累次の税金投入を許すほど寛大とは思えません。

(3)さらに実体経済は…

①消費、設備、住宅などすべての需要が停滞し、

②輸出の増加も期待できず、

③マイナス成長が長期化し、

④世界を1930年代以来の大不況に陥れてしまう可能性が高まっています。

3. 世界経済のデフレ・スパイラルを防止するために米国がすぐ実行すべき政策は、日本の経験に基づくと次の諸点です。

(1)金融政策では…

①フェデラルファンド(FF)金利をゼロ近傍まで引き下げ

②大量の資金を市場に供給し

- ③金融緩和の長期間継続を約束し
- ④貸し出し担保を拡大することなどです。

(2)財政面では…

- ①回復までの所得・法人減税
- ②テネシー川総合開発に匹敵する超大型公共投資
- ③二酸化炭素(CO₂)削減に直結する環境関連投資の優遇措置
- ④社会保障関連支出の拡大などです。

(3)産業政策では…

- ①整理信託公社(RTC)を設立し企業を再生する
- ②輸出貢献企業への補助金などが有効でしょう。

4. おわりに

(1)先月、閣下の母校であるハーバード大学ロースクールと共催した「日米金融シンポジウム」では、日本側の出席者に比べ米国側の出席者が楽観的なのが印象的でした。しかし事態はかなり切迫しています。

(2)オバマ次期大統領閣下、世界が大不況のどん底に落ち込まないように、前記のようなマクロ・ミクロ政策の総動員と実行をよろしくお願い申し上げます。

敬具
(恵海)

<コメント>

米国次期大統領への、危機に陥った国家金融に精通した日本の経済界からのアドバイスで、これほどの的確、具体的なものはないと高く評価したい。日本でもこの徹底が望まれる。

— 2008年11月25日記 —
(林 明夫)